

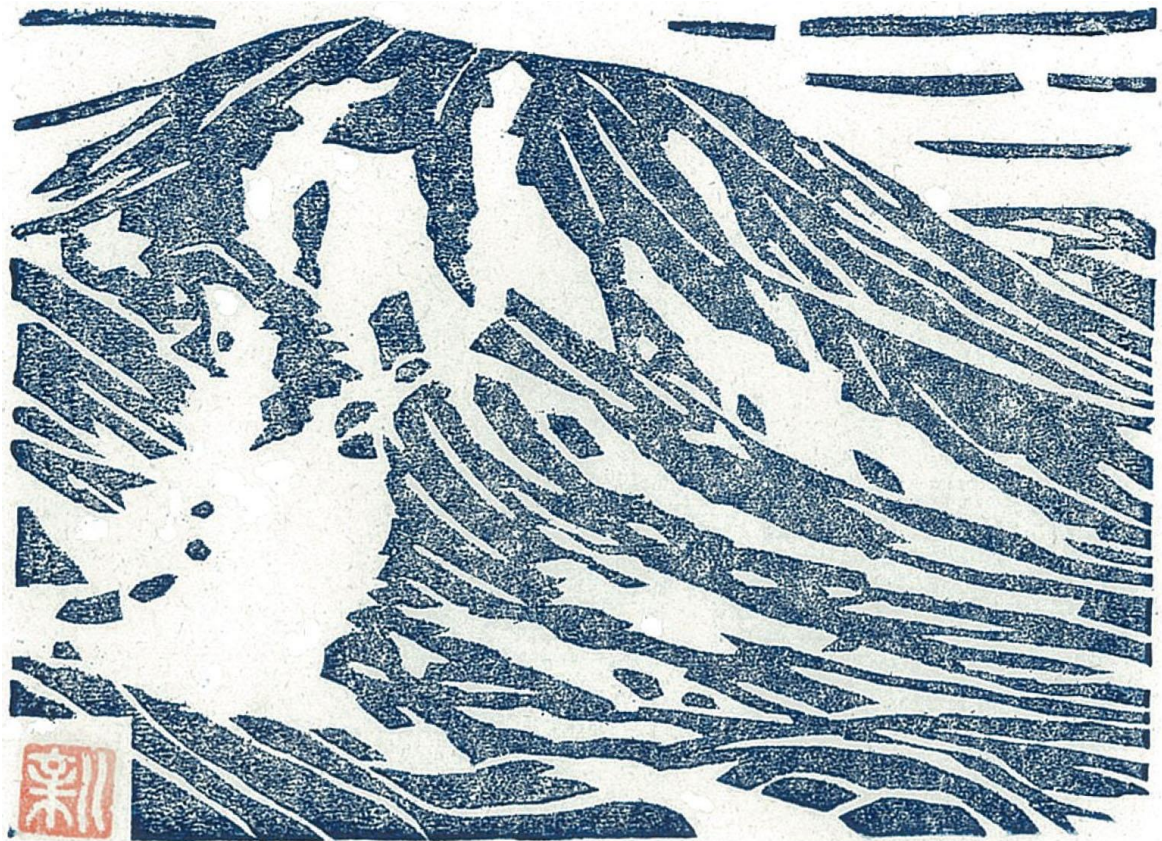
ISSN 1340-7368

公益社団法人 日本雪氷学会北海道支部機関誌

# 北海道の雪氷

*Annual Report on Snow and Ice Studies in Hokkaido*

第38号



2019年9月

発行 公益社団法人 日本雪氷学会北海道支部

## 目 次

巻頭言	1
2019 年度日本雪氷学会北海道支部研究発表会発表論文	7
公益社団法人日本雪氷学会 北海道支部 2018年度事業報告	117
公益社団法人日本雪氷学会 北海道支部 2019 年度事業計画	122
公益社団法人日本雪氷学会 北海道支部 2018 年度収支報告	124
公益社団法人日本雪氷学会 北海道支部 2019 年度予算	125
公益社団法人日本雪氷学会 北海道支部 2019 年度役員名簿	126
公益社団法人日本雪氷学会 北海道支部 支部規程施行内規	127

## 表 紙

画： 斎藤 新一郎

題字：福沢 卓也

### (表紙解説) 旭岳の雪渓

一般社団法人北海道開発技術センター  
斎藤 新一郎

大雪山は、北海道の中央部に位置し、その最高峰が旭岳(2,291m)である。新しい火山群の主峰であって、なお噴煙が上がっているが、その名前のおり、雪山の景色に魅力がある。新しく、浸食が進んでいなくて、谷筋が深くないが、雪を長く留めて、初夏の雪渓が素晴らしい。隣接の北鎮岳(2,244m)の白鳥の雪渓が有名であるが、こちらも年々形が異なり、見守る楽しみがある。

—「りんゆう山歩」の表紙の写真の木版画とした。

